

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公表番号】特表2003-528577(P2003-528577A)

【公表日】平成15年9月30日(2003.9.30)

【出願番号】特願2001-513421(P2001-513421)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/015 (2006.01)

A 6 1 K 31/135 (2006.01)

A 6 1 K 31/203 (2006.01)

A 6 1 K 31/21 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 K 31/7072 (2006.01)

A 6 1 K 31/708 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 R 1/91 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/02

A 6 1 K 31/015

A 6 1 K 31/135

A 6 1 K 31/203

A 6 1 K 31/21

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/7072

A 6 1 K 31/708

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/00

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 5/02

C 1 2 R 1:91

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月27日(2007.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】 分化転換を引き起こす剤が、グアノシン、フェニルチオウレア、1,2-0-テトラデカノイル-1,3-ホルボールアセテート、ホルボール、グアノシンモノホスフェート、グアノシンジホスフェート、グアノシントリホスフェート、アデノシン、アデノシンモノホスフェート、アデノシンジホスフェート、アデノシントリホスフェート、ウリジン、ウリジンモノホスフェート、ウリジンジホスフェート、ウリジントリホスフェート、チミジン、チミジンモノホスフェート、チミジンジホスフェート、チミジントリホスフェート、エピネフリンおよびノルエピネフリンからなる群から選択される、請求項5に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項16

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項16】 幹細胞を産生する方法であって：

(a) 患者からクッパー細胞を得る工程、

(b) 産生に有効な時間および濃度で分化転換を引き起こす剤とクッパー細胞を接触させる工程、および

(c) 幹細胞を回収する工程

を包含する、前記方法。